

# 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 須賀 知子

- 1 日時 令和5年 2月2日(木) 5校時 3, 4年生教室
- 2 学年 第3学年 4名 第4学年 4名 計8名
- 3 単元名 木江のやさしさを伝えよう
- 4 単元について

## (1) 単元観

大崎上島は豊かな環境に恵まれた瀬戸内海の島である。この大崎上島では、海を中心とした美しい自然が広がり、毎年たくさんの観光客が訪れる人気のある島である。

児童らが住む木江地区は、65歳以上の高齢者が人口の約58%を占めており、高齢化が進んでいる。同時に木江小学校の全校児童は27人であり、少子化も進んでいる。木江地区では、地域のつながりが強く、児童は地域のお年寄りの方と日常的にコミュニケーションをとったり、近所で関わったり、家庭の中でも祖父母と暮らしたりする児童が多い。

児童はこれまで、「大崎上島学」(生活科・総合的な学習の時間)を通して、大崎上島の歴史や産業、自然、福祉など様々な体験を行ってきた。学習を通して児童はふるさとのよさに気付き、自分たちの地域や人や物を大切にしたいという考えをもつことができるようになってきている。

これまで「やさしさ」を3, 4年生共通のテーマとして学習してきた。3年生は、人のやさしさ、4年生は、自然へのやさしさについて、1, 2学期まで調べ学習を進めてきた。本単元では、「やさしさ」を共通のテーマに、自分たちにできることを企画し実行する活動を行う。各学年において1, 2学期に学習してまとめてきたことを生かした新たな課題を設定し、3, 4年生が合同で木江地区の魅力を発信する。これらの学習を通して、多面的に新たな魅力に気付き、地域の方々とのつながりを深めると共に、自分たちも地域の一員として主体的に関わろうとする児童の育成につながるものと考え本単元を設定した。

## (2) 児童観

本学級の児童は、8名中3名が特別支援学級に在籍している。少人数でありながら、2学年3学級の児童が合同で活動する環境に置かれていることもあり、本校の児童は、人を思いやる心をもつ児童や協力して問題を解決しようとする児童が多い。

児童は、これまでの学習で、社会福祉協議会主催の「木江サロン」で地域のお年寄りの方たちとゲームをしたり歌を歌ったりするなどして、ふれあい活動を経験したり、社会福祉協議会の方や福祉施設の施設長さんをゲストティーチャーでお招きしたりして、福祉について学習している。また、広島商船高等専門学校の授業の一環として、地域の海の水質検査を行ったり、K授業で海岸の生き物調査を行ったり、漁業協同組合の方たちの活動を体験したりしている。活動の際には、やさしい気持ちで接することの大切さや環境を守る大切さなどを感じることができる児童が多かった。調べた内容は、3, 4年生合同で学習発表会や「大崎上島学」での交流会で発表した。自分たちで台本やスライド、動画を作成することができた。しかし、福祉や環境について知ることはできたが実際に自分たちが活

動できることについて考え行動することができていない。

そこで、本単元の活動を通して、実際に行動することで、活動している人の気持ちや努力に気付かせ、地域の一員としての役割を果たしていこうとする力を付けていきたい。

### (3) 指導観

指導に当たっては、1, 2学期で学習した木江の地域のやさしさに焦点を当てて学習したことをもとにさらに自分たちにできる事は何かを考え、行動に移させていきたい。お年寄りへのアンケートの結果を分析することにより、自分たちが思っているやさしさと地域の方が思っているやさしさとギャップに気付かせ、地域の方のニーズを取り入れた活動になるように考えさせたい。

児童には、お年寄りへのアンケートの分析や計画、協力をお願いする福祉施設の方へのアポイントメントを自ら行うようにさせ、主体的に学習を進めていくことの楽しさを味わわせたい。主体的に学習をすることにより、より自分事として考え、よりよいものにしていこうと児童同士が協力していくことができると考える。地域の方々との関わりを通し、自分たちも地域の一員としての自覚と相手に対する思いやりの気持ちをさらにもつことができ、自己肯定感を高めたり、達成感を味わえたりする活動にしていきたい。

児童は、自分たちがインターネットなどで調べたり、5, 6年生や先生たちに、アンケートを取ったり、考えたりしたことを基に計画書を作成し、前時に発表している。本時では、それぞれの計画書に計画の良い点と悪い点、改善策の付箋を発表しながら貼らせ、それぞれの計画をしばるための手立てとする。計画をしばる場面では、教師はファシリテーターとして児童の主体的な活動をサポートする。この活動を通して、他者と協働し、問題を解決していく思考力や判断力を育成していきたい。

### 5 単元の目標

- 大崎上島のやさしさに関心をもち、これまでの学習を生かして行動することができる。
- 適切な方法で情報を収集・整理し、内容を効果的にまとめることができる。
- 木江のやさしさを考える活動を通して、相手意識や目的意識をもち、自分にできることを考え実践しようとする態度を育てる。

### 6 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

(○は本単元において育成しようとする資質・能力)

基礎・基本の学力		・他教科で学習したことを横断的に生かし、相互に高めていくことができる。
思考力・判断力・表現力 (応用力・活用力)	○	・主体的、協働的に問題を発見し、解決していくために必要な思考力・判断力・表現力等を身に付けることができる。 ・言語能力、情報活用能力(情報モラルを含む)、問題発見・解決能力を身に付けることができる。 ・既存の知識や技能を活用して、問題解決を図っていく力を身に付けることができる。 ・自分の思いや考えを、相手意識や目的意識をもって、効果的な表現方法を用いて、分かりやすく表現することができる。

主体性	○	・何事にも主体的に取り組み、意欲をもって行動することができる。
コミュニケーション能力		・他者の価値観や多様性を尊重する態度を身に付け、協働して活動することができる。 ・他者と協働するためのリーダーシップやチームワークを身に付けることができる。
チャレンジ精神		・困難な状況でも粘り強く取り組み、最後まで諦めずやり続けることができる。 ・これからの木江や地域の方のためにできることは何かを考え、行動することができる。
多様性（自己肯定感）	○	・他者の価値観や多様性を尊重する態度を身に付け、協働して活動することができる。

## 7 単元の評価基準（ルーブリック）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
資質能力	知識・技能	思考力・判断力・表現力 【自分の意見をもち、分かりやすく友だちに説明する】	主体性 【みんなで協力し進んで取り組む】	多様性（自己肯定感） 【友だちと相談しながら考える】
A	アンケートの結果や他学年の児童のアイデアを自分の考えの中に取り入れ、よりよい企画を考えることができる。	来てくれた人が喜ぶような企画を考え、計画書に分かりやすく書き表し、友だちに分かるように説明することができる。	交流会の開催に協力してくださる方と積極的に連携し、会を成功させようと努力することができる。	友だちの考えを柔軟に受け入れたり、みんなが活躍できるようにそれぞれの特性に合わせた配慮をしたりすることができる。
B	お年寄りがしてほしい企画を考えることができる。	来てくれた人が喜ぶような企画を考え、計画書に分かりやすく表し説明することができる。	交流会を成功させるためにみんなで協力することができる。	友だちに相談しながら考えたり、自分の考えを伝えたりすることができる。
C	自分で企画を考えることができない。	自分の計画書を説明することができない。	交流会を成功させるためにみんなで協力することができない。	友だちの考えを受け入れたり、参考にしたりすることができない。

8 指導計画（全 15 時間）

(1) パフォーマンス課題（単元末課題）

**来てくれた人に喜んでもらえる交流会を開こう！**

(2) 単元計画（全 15 時間）

時	学習内容	評価	
第1次 課題の設定 整理・分析 情報の収集	1/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちが地域のお年寄りのためにできることを考える。</li> <li>パフォーマンス課題の設定をする。</li> <li>情報収集の手立てを考える。</li> </ul>	知主
	2/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期に行ったアンケートの分析を行う。</li> </ul>	思主
	3/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年生が、アンケートの分析をまとめ、4年生への協力依頼をする。</li> </ul>	思主
	4/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年生が、アンケートを作成し、他学年や学校の先生方へアイデアの募集を募る。</li> </ul>	思主
第2次 課題の再設定 情報の整理・分析 まとめ・表現	5～7/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイデアをもとに自分の企画を考える。</li> </ul>	思主
	8～9/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画を交流する。</li> <li>交流会の流れを考える。【本時】</li> </ul>	思主
	10/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちが考えた企画を社会福祉施設の方にみてもらい、アドバイスをもらう。</li> </ul>	思主
第3次 情報の整理・表現 実行	11/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドバイスをもとに企画を加筆修正する。</li> </ul>	知主
	11～13/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流会の準備をする。</li> </ul>	知主
	14/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流会を開催する。</li> </ul>	主
第4次 まとめ・振り返り	15/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動を振り返り、気付きなどをまとめる。</li> </ul>	思主

9 本時の授業について

(1) 本時の目標

○お年寄りの方が求めている活動になっているかを考え、お互いの意見を聞き合いながら、計画書をそれぞれ3つにしばることができる。

(2) 本時の展開 ( 9/15)

	学習活動	指導上の留意点(○)	評価規準【評価方法】
課題設定	<p><b>1 本時の学習課題を設定する。</b> (全体)</p> <p>○お年寄りの方へのアンケートで分析したことを基に、お年寄りの方が喜ぶ会を計画することを確認する。</p>	<p>○学習の始めにパフォーマンス課題の確認を行う。</p> <p>○お年寄りの方へのアンケートの分析結果を黒板に貼って意識させる。</p>	
情報収集	<p><b>本時の課題</b></p> <p style="text-align: center;">お年寄りの方に喜んでもらえる交流会の案をしばろう。</p>		
整理分析	<p><b>2 良いところや悪いところの付箋を</b> <b>発表し合う。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サイコロをふって話し合うのは何ができるかわからないから楽しそうだね。</li> <li>話す時間を決めないと話ができないお年寄りの人がでてくるんじゃないかな。</li> <li>ふつうのジャンケンより体をつかえるから体操にもなるね。</li> </ul>	<p>○計画書に付箋をはりながら発表させる。</p> <p>○同じ意見のものは、重ねるようにする。</p> <p><b>【話すポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの力で本当にできる計画ですか？</li> <li>お年寄りの方が喜んでくれる内容ですか？</li> <li>時間や活動場所を考えた内容ですか？</li> <li>足の悪いお年寄りの方も楽しめる内容ですか？</li> <li>3, 4年生のみんながそれぞれ関わられる企画になっていますか？</li> </ul>	<p>・自分の考えを話すことができる。</p> <p style="text-align: right;"><b>【主・発言】</b></p>
表現	<p><b>3 それぞれの計画書を3つにしばる。</b></p> <p><b>【コーナーの企画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おりがみのお花をあげよう。</li> <li>サイコロポン！</li> <li>昔の遊びをしよう。</li> <li>ボーリング大会をしよう。</li> <li>昔の遊びをお年寄りの方とやろう。</li> <li>お年寄りの子供のころの話を聞</li> </ul>	<p>○計画書をグルーピングし、計画書をしばらせる。</p> <p>○目的は何かを再度確認しながら進めさせる。</p> <p>○お年寄りの方のニーズや体力面などを考えて可能かどうか考えさせる。</p>	<p>・目的意識をもって話し合いに参加することができる。</p> <p style="text-align: right;"><b>【主・発言】</b></p>

<p>まとめ</p> <p>振り返り</p>	<p>こう！</p> <p>○時間とスペースを考えてしぼる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・似ている企画だから、良いところを取って1つの企画にできるといいな。</li> <li>・時間的にこのゲームは難しいな。もっと工夫したほうがいいね。</li> <li>・サイコロの方がいろんな話を聞くことができるね。</li> <li>・お年寄りの人が選べるようにした方が楽しめるね。</li> <li>・お年寄りの方と一緒にゲームをした方がいいね。</li> <li>・個人にあげるより全体で飾ってもらえるものを作った方がいいと思うよ。</li> </ul> <p><b>3 振り返り、次時への学習の見通しをもつ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖浦サロンの方に自分たちが考えた計画を聞いてほしいな。</li> <li>・お年寄りの方が楽しめる企画になったので、交流会を開くのが楽しみだな。</li> </ul>	<p>○計画書に貼った付箋を基に話し合わせる。</p> <p>○似ているものはどちらの企画にするか考えさせるのではなく、良いところを取り入れたものにしたたり、それぞれのアイデアが入ったものにしたたりするように助言する。</p> <p>○教師はファシリテーターとして、児童の主體的な活動をサポートする。</p> <p>○沖浦サロンの方に自分たちの考えを聞いていただくことを伝え、次への意欲をもたせる。</p> <p>○パフォーマンス課題の評価項目を自分たちでチェックできるようにする。</p>	
------------------------	--	---	--

10 板書計画

2/2 木江のやさしさを伝えよう

課題	お年寄りの方に喜んでもらえる交流会の案をしぼろう。	3学期の流れ
アンケート結果	ポイント	<p>交流会の流れ</p> <p>決まったことを書き込めるようにしておきます。</p>

